

科目名称：	日本語表現 I (幼児教育学科)	
担当者名：	三浦 哲志	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
<p>日常生活のみならず将来の保育者としての就職においても必要不可欠な国語の知識と文章表現力を身につけることを目的とする授業である。高校までに学習した知識の再確認から応用的な内容まで幅広く取り扱う予定である。授業においては、知識・理論だけでなく実践を重視し、問題演習と作文の時間を多くとる予定である。それを通じて、知識の確実な定着と文章表現力の向上をはかりたい。毎回、確認のための小テストを行うので、受講者には欠かさず復習を行って欲しい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>実社会、特に幼児教育の世界で働いていくために必要な文章能力や知識の獲得が目標である。具体的には、専門用語も含め語句を漢字で正確に表記でき、自分の意志を正確かつ適当な分量で表現できる状態を目指したい。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)	80	10	10		100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業の概要説明	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第2回 文章の構成・要素、文体の統一	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第3回 原稿用紙の使い方、手紙の書き方	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第4回 作文演習	作文演習に備えて執筆するテーマとその材料を探しておく	30分
第5回 主語と述語	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第6回 修飾語と被修飾語	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第7回 句読点、ダラダラ文	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第8回 敬語	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第9回 作文演習	作文演習に備えて執筆するテーマとその材料を探しておく	30分
第10回 仮名、漢字	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第11回 反対語、対照語	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第12回 四字熟語、ことわざ	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第13回 重複表現、慣用句	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分
第14回 作文演習	作文演習に備えて執筆するテーマとその材料を探しておく	30分
第15回 映像資料を用いて国語表現を学ぶ	授業内に配布した課題を復習し、小テストに備える	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントを復習することになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内小テスト10%、授業内提出課題10%

課題に対するフィードバック
授業内提出課題は添削しコメントを付して返却する

教科書・参考書
『すぐに役立つ国語表現 第3版』